

動物実験に関する検証結果報告書

北海道教育大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

2021年3月

2021年3月4日

北海道教育大学
学長 蛇穴 治夫 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物学会
理事長 三好 一郎



対象機関：北海道教育大学
申請年月日：2020年7月29日
訪問調査年月日：2020年10月15日
調査員：森松正美

検証の総評

北海道教育大学は、4つの師範学校を前身とし、昭和24年、道内5都市（札幌、旭川、釧路、函館、岩見沢）に5つのキャンパスをもつ教員養成大学として出発し、以来半世紀余にわたり教育界を中心に数多くの人材を送り出してきた大学である。動物実験は、岩見沢校及び札幌校に設置された、それぞれ1か所の施設で実施されており、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」に則した機関内規程である「北海道教育大学動物実験取扱規則」のもとで、計画の審査・承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、及び情報公開が適切に行われている。調査時点において実験動物の飼養保管は行われていなかったが、環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に則した飼養保管の設備と体制が整っていた。特に、実験計画や施設の承認期限を1年として毎年、審査、調査を実施するなどの工夫により、遠隔キャンパスでも管理を徹底する仕組みを構築していることや、外部の教育素材を積極的に導入して教育訓練を実施していることなどは、動物実験を適正に行う取り組みとして高く評価できる。一方、機関内規程や飼養保管状況等の細部で改善の余地も認められたため、これらについて機関内で検討され、さらに充実した機関管理体制の構築を推進されたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
機関内規程として「北海道教育大学動物実験取扱規則」が定められており、規程の内容は概ね基本指針に適合している。よって、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
基本指針で求められた事項を確実に網羅していることを容易に確認できるよう、再度、現行の規則を精査され、例えば学長の責務を基本指針の記載にならって示すなど、必要に応じた改善を検討されたい。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「北海道教育大学動物実験取扱規則」に委員会の役割、構成等が定められている。また、動物実験委員会委員名簿より、委員会は基本指針に規定されている3種のカテゴリーの委員で構成されていた。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見 実際に設置された委員会は基本指針に規定されている3種のカテゴリーの委員から構成されているが、「北海道教育大学動物実験取扱規則」においてこれらカテゴリーに関する記載に曖昧な点が認められる。また、現状では実験動物管理者が委員に含まれていないが、委員会での審議には実験動物の管理に係る専門的な視点が重要であることから、実験動物管理者を委員に加え、当該委員から計画書が申請された場合には審査からはずすとといった対応を検討されたい。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 「北海道教育大学動物実験取扱規則」で動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、動物実験に関する各種様式が定められている。よって、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見 計画書様式の細部について改めて確認し、人道的エンドポイントの具体的内容を記載する欄の追加等を検討されたい。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性 安全管理に注意を要する動物実験については実施されておらず、今後の実施予定もないとの

<p>ことで動物実験計画書様式に関連する実験区分チェック欄等がない。また、麻薬や向精神薬の使用についても、現状での使用や今後の使用予定がない。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験について今後実施予定がないとのことだが、動物実験計画書様式には、遺伝子組換え動物使用実験の場合の承認番号を記載する欄があり、実施可能な状況となっている。将来実施する場合は、関連委員会との連携の下、「北海道教育大学遺伝子組換え実験等安全管理規則」や細則等に則り、手続き及び安全対策に遺漏のないよう実施されたい。</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設として48時間を超える実験動物の保管が行われているのは1か所のみであり、飼養保管マニュアルが作成されるとともに、動物実験の長い経験（29年）を有する実験動物管理者が配置されている。よって、実験動物の飼養保管の体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>飼養保管施設と実験室は、運用上の区別は適切に行われていたが、施設承認上の区分がより明確になるよう改善を検討されたい。飼養保管施設を毎年点検して記録に残していることは高く評価されるが、点検を実施する関係者が継続的に新しい知識を得てそれをさらなる改善に生かす仕組みの構築等を検討されたい。</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

道内各地に置かれた5つのキャンパスから構成される大学であり、これらのキャンパスで実施される動物実験を、学長が統括管理し、動物実験委員会が関連した助言や審査を行う体制の構築に真摯に取り組んでいた。毎年、動物実験計画があれば計画書提出等の所定の手続きを行うようにすべてキャンパスの関係者に周知されており、1年の期限で報告を求め、実施状況をもれなく把握する体制となっている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験計画書は毎年度更新することとされ、その計画書は動物実験委員会により適正に審査され、議事録が適切に保管されている。また、飼養保管施設を毎年更新・調査してその結果を議事録として保管している。よって、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特定の教員が類似の実験を継続的に実施する状況から、動物実験計画書の審査や、飼養保管施設の調査が慣例的なものとなる可能性も否定できない。委員会の増員や再構築によって新たな視点を加えるなどして委員会機能の更なる強化を図られたい。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>2019年度の動物実験計画は2件のみで、委員会審査及び学長承認を経て実施され、結果報告もされていた。よって、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>最近ほとんど実施されなくなった実験手法が一部の実験に残るなど、検討の余地がある。</p>

今後は、新しい知見を積極的に取り入れて動物実験の継続的な改善を図りたい。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験を行っていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

安全管理に注意を要する動物実験は、実施されていない。また、大型オートクレーブや安全キャビネットなど、点検が義務づけられている機材も設置されていない。よって、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。
- 該当する動物実験は行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

訪問時に実験動物は飼養保管されていなかった。48時間以上の保管を行う飼養保管施設は1か所で、ブリーダーで生産された微生物学的保証を有するマウスが導入されて一定期間飼育され、繁殖は行われていなかった。よって、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 これまでに動物逸走の事例はなく、念のために捕獲網が置かれていたが、万が一に備えてこれ以外の捕獲装置（シャーマントラップ等）の追加やネズミ返しの設置等、逃亡防止策の強化を図られたい。また、緊急時連絡網等の現場での表示も実施されたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 飼養保管施設及び実験室は、機関内規程に基づき毎年、調査され、その結果が動物実験委員会議事録に記録されている。施設の部屋の入り口は扉のシリンダー錠によって管理されている。動物の飼養保管は、動物実験室の一部を囲った区画でエアコンと補助暖房、及び加湿器を設備して行われ、温湿度は許容範囲内に維持されて記録も取られている。よって、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 動物飼育区画を設けた部屋は、通常、1名の教員が使用するのみの状況であり、これまで特段の問題等も発生していないとのことだが、今後、規模拡大や実験実施内容の変更があれば、それに施設が耐えられない可能性がある。必要に応じ、施設維持管理の改善を計画されたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 「北海道教育大学動物実験取扱規則」に定めた内容を含む教育訓練が実施され、受講者の氏名や教育内容の記録が残されている。動物実験実施者等の関係者は、外部の講習会等にも参加

し、その受講資料は、内部の教育訓練にも積極的に活用されている。

なお、受講者は教職員のみで毎年、数名程度だが、これは、学生が直接、動物実験を実施していないために教育訓練の対象とされていないことによる。よって、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

「北海道教育大学動物実験取扱規則」に定めた教育訓練は実施されているものの、進歩を続ける動物実験に関連する情報や知識を補って行くため、さらなる教育訓練の機会の充実を図ることを推奨する。また、教育訓練の内容に、人獣共通感染症を加えられたい。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

機関内規程や各種の様式、実験動物の飼養保管状況、及び動物実験に関する自己点検・評価報告書がホームページで公開されている。よって、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

国立大学法人動物実験施設協議会が推奨する情報公開項目、すなわち動物実験委員会の3種の委員構成等について公開を検討し、公開情報の充実を図られたい。本検証結果報告書についてもホームページで公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

動物実験をより適正に実施するため、関連する最新情報の取得に努めることを推奨する。近隣大学等動物実験関係者との情報交換の機会を増すなどの方法について検討し、さらなる改善につなげられたい。